

広報Ⓜ
No.735
令和7年

いいたて5

www.vill.iitate.fukushima.jp





桜 飯館復興三千本の桜 桜まつり

4月19日・20日の2日間、
會田征男さん・ツタ枝さん夫婦（伊丹沢）が丹精を尽くす「飯館復興三千本の桜」にて、実行委員会主催の桜まつりが開催されました。他では見られない特別な花景色を楽しみに、地元はもとより各地から数多くの観光客が訪れました。また、ご夫婦を慕う多くの人が県外からも訪れて、桜の下での再会を喜んでいました。村民有志のグループ「ふらっと」は、大雷神社で桜まつりを開催。ライトアップで輝く夜桜は、非日常の美しさ。訪れた人が写真を撮りながら幻想的な景色を楽しんでいました。「ふらっと」は、「飯館復興三千本の桜」でもライトアップを実施するなど、村内のスポットの新たな魅力を掘り下げています。

桜の名所で2つのイベント

春の飯館 桜の名所で2つのイベント



村内を巡るとそこかしこで菜の花畑の鮮やかなイエローがパッと目に飛び込んできます。

目次 CONTENTS

- 02 話題「桜の名所で2つのイベント」
- 04 特集1「飯館村の補助制度」
- 08 特集2「入学式・入園式」
- 10 お知らせ「村の新しい顔」
- 12 空から百景「はやま湖の春」
- 14 いいたて便り
- 16 話題のパレット
- 18 村からお知らせ
- 20 農政係からのお知らせ
- 21 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 22 **NEW!** いいたてPHOTOリレー ほか
- 23 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS ほか

📷 今月の表紙



「飯館復興三千本の桜」の桜まつりを訪れていた村松朝陽（あさひ）さんと晴翔（はると）くん。満開の桜の下でのびのびと笑顔を輝かせていました。上の写真は、この桜景色を創り上げた會田さん夫婦。桜まつりの様子は左の記事をご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係☎0244-42-1613までお知らせください。



村外からも多くの人が来訪し、一帯に広がる満開の桜を愛で、散策を楽しみました。



地域の人々がステージイベントや飲食ブースの運営に協力し、来訪者を歓迎しました。

桜 大雷神社 桜まつり



大雷神社では、4月16日から22日まで、桜並木のライトアップが行われました。また、同19日の「キャンドルナイト」では、境内に工房マートのキャンドルが灯され、村民有志が露店を出して、来訪者と交流しました。日没を待って多くの家族連れが訪れ、顔馴染みや久しぶりに再会した人同士が、桜の下で会話を弾ませました。

子育て・学びの支援や
福祉サービスなども
合わせて紹介します

村民の皆さんが主役！

飯舘村の補助制度

力を合わせてなりわい、賑わいを創り出そう！

特集1

飯舘村の村づくりは、村民の皆さんあつてこそ。行政区や民間団体、あるいは村民一人ひとりの活動が、村の暮らしやすさにつながり、地域と

しての魅力を高めてきました。それは、震災からの再生・復興の道のりにおいても、大きな力となっています。

村は、震災後も、再生・復興のそれぞれの段階に応じて、補助制度を整備し、地域活性化の礎となる、村民の皆さんの活動を支援してきました。そして、村民の皆さんのアイデア、行動力、継続的な努力が、これらの制度に命を吹き込み、成果を生んでいます。

現在も、なりわいやコミュニティ活動の多様な局面で活用いただける補助制度があります。また、地域の活性化や困りごとの解決、暮らしやすい地域づくりなどを目的とした、子育て、教育、医療、福祉の支援メニューもあります。

今年度の主なラインアップを紹介します。なお、対象にはそれぞれ要件がありますので、申請を検討される場合は、ぜひ事前に、担当係にお問い合わせください。

なりわい

農業

飯舘村未来へつなぐ農業支援事業

農業の振興と発展、経営維持や規模拡大をさまざまなメニューで支援します。

水稻育苗補助事業

育苗施設が村外となることによる運搬経費の一部を支援し作付けの振興を図ります。

水稻病虫害防除対策支援事業

水稻カメムシによる損害を未然に防止し良質な米の生産を支援します。

畜産再開素牛導入補助金

村内で和牛飼養の再開を目指す農家を対象に、素牛導入の費用の一部を支援します。

和牛遺伝子評価支援事業

繁殖雌牛の遺伝子を評価し、優良牛の繁殖計画の効率化を支援します。

狩猟免許取得に係る経費の一部補助

新たに狩猟免許を取得した人を対象に、取得経費の一部を補助します。

ふくしまならではの畑作物産地づくり推進事業

水田・畑地で作付けする蕎麦の生産性向上・作付け拡大に関する機械等の導入を支援。

農地中間管理事業

農地中間管理機構（農地バンク）を活用して、意欲ある担い手に農地の集積を図ります。申請は地区単位。要件を満たせば機構集積協力金などが交付されます。

就農準備資金・経営開始資金事業

次世代を担う農業者となることを目指す人に就農前の準備資金、開始資金を補助します。

福島県営農再開支援事業

営農を再開するまでの地力回復、電気牧柵等を支援します。

問 産業振興課農政係 ☎0244-42-1621／1625

国・県の補助に係る申請のサポートも行っています。

なりわい

商工業

ベンチャー企業創出支援事業

村の資源を生かし独創的なアイデアで新たな産業を創出する人の創業経費の一部を助成。

ふるさとの担い手スタートアップ事業

新規起業家や就農者などを支援する事業です。

- スタートサポート補助金 村関係者でなりわいを始めようとしている方を支援。
- スタートサポートプラス補助金 村内で創業している法人・個人事業主を支援。
- スタートダッシュ補助金 国または県の補助金交付決定者が対象です。

問 産業振興課商工観光係 ☎0244-42-1620

企業立地支援制度

企業が経営規模を拡大しやすい環境をつくり、村民の「働く場」の拡充を図ります。

雇用拡大や地域経済発展等に資すると認めた事業者に対する補助

※交付の要件があります。期間に余裕を持ってご相談ください。
※下記は4月22日時点のメニューです。詳細はお問い合わせを。

■事業に要する経費補助

- | | |
|--------------------|------------|
| ①用地取得補助金 | ②用地賃貸借補助金 |
| ③工場取得補助金（新設・買収・改築） | ④工場賃貸借補助金 |
| ⑤機械設備等補助金 | ⑥福利厚生施設補助金 |
| ⑦操業奨励金 | |

■村有地の貸付支援

■私道等の整備支援

この他、「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金」や、復興関連の国・県の支援もご活用いただけます。

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613

働く場を拡大し、経済の活性化を目指します。
新しい豊かさを感じる村へ。

生きがいとなりわいの力強い再生と発展。
力を合わせてまでいブランドの拡大を目指します。

医療・介護・福祉

●は飯舘村社会福祉協議会に委託をしている事業です。

●日常生活支援(地域お助け合い)事業 問 飯舘村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021
村内の一人暮らし高齢者・高齢者だけの世帯等の生活を、地域住民やボランティアが援助します。

●生活支援ワゴン運行事業 問 サポートセンター「つながっぺ」☎0244-26-5207
交通手段を持たない村内居住者の生活を支援します。

●サポートセンター「つながっぺ」運営事業 問 サポートセンター「つながっぺ」☎0244-26-5207
サロン(健康体操やレクリエーション等を通じた交流)を開催。見守り訪問活動も行っています。

●地域活動支援センター「なのはな」運営事業 問 地域活動支援センター「なのはな」☎080-5849-8157
障害のある方が気軽に立ち寄り、さまざまな活動で生きがいづくりができる場を提供しています。

村外介護サービス等送迎事業

要介護者等を村外の介護サービス事業所等へ送迎します。

問 飯舘村地域包括支援センター ☎0244-42-1626

総合健診事業

各種健診、人間ドッグを実施しています。

予防接種事業

乳幼児から高齢者まで各種予防接種費用の一部または全額を助成しています。

までいな健康づくり事業

健康運動指導士が講師を務める「までいな健康運動塾」を開催。村民はどなたでも参加できます。

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

保健師・栄養士による保健指導も行っています。

暮らし・コミュニティ

みがきあげよう!ふるさと補助金

地域の魅力向上につながる行政区主体の取り組みを支援。今年度が事業期間の最終年度になります。

飯舘村までいな心の復興事業

人とつながり生きがいを持って前向きに生活できることを目的とした村民主体の取り組みを支援。

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613

飯舘村移住定住支援事業補助金

飯舘村に移住する方が、空き家購入や住宅の新築・修繕に活用できる補助金です。

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

※この特集に掲載したものは主な事業で全体の一部です。

子育て・教育

赤ちゃん誕生祝金事業 問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

次世代を担う子どもの誕生を祝い1人あたり20万円を支給します。

産後ケア事業 問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

助産師によるお母さんと赤ちゃんへの育児サポート等を行う費用を助成しています。

子育て応援支援金事業 問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

子育て応援支援金については、P9をご覧ください。

不妊治療費助成事業 問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

不妊治療を受ける夫婦(事実婚も含む)の自己負担の一部を最大50万円・最長3年間助成します。

乳幼児医療費助成事業 問 住民課住民係 ☎0244-42-1618

18歳に達する日以降の最初の3月31日まで乳幼児医療費の個人負担分を助成します。

奨学金貸付事業 問 飯舘村教育委員会 ☎0244-42-1631

高校生・専門学校生・大学生・短大生等を対象とした無利子の奨学金です。

奨学金返還支援事業 問 産業振興課商工観光係 ☎0244-42-1620

村内で就業・起業する方(営農を含む)の奨学金の返還を免除または補助します。

通学費等貸付事業 問 飯舘村教育委員会 ☎0244-42-1631

お子さんが高等学校等に進学する村内在住の保護者が対象です。正規の期間内に卒業した場合は返還が免除されます。

生涯学習

生涯学習支援事業(一人一趣味)

自主的に講座を開き活動する村民5人以上のグループに、講師謝金の一部を助成します。

村内1日留学事業

離れて暮らす村民が改めて村の文化に触れる機会として「村内1日バスツアー」を開催します。

農業を満喫・農業をもっと楽しく交流事業

「わくわく農業体験塾」を開催。野菜の栽培・収穫・調理を通して村民が交流しています。

問 交流センター「ふれ愛館」(生涯学習課) ☎0244-42-0072

生涯学習講座、自主文化事業なども多彩に行っています。ぜひご参加ください。

結婚

結婚新生活支援事業

結婚し村内で新たに生活する婚姻世帯のリフォーム・家賃・引越し費用などを支援。所得などに要件があります。

問 住民課住民係 ☎0244-42-1618

子どもは村のたからもの。
子育て世帯を全力で応援します。

飯舘を語り、飯舘を喰み、
飯舘と過ごす時間を。

新生活を
応援します。



までいの里のこども園 入園式

4月8日に園内の「わんぱくほーる」で入園式を行い、2人の新入園児を歓迎しました。

までいの里のこども園では、新年度のスタートに合わせて、たいよう組（3歳児）に1人、つき組（4歳児）に1人の合わせて2人が入園しました。入園式では、伊藤寛園長が「園名のまでい」に込められた意味を保護者の皆さんと共有し保育にあたりたい」と式辞を述べました。また、高橋教育長が「村の園を選んでいただきありがとうございます」と語りかけました。明日から共に頑張る子ども達を育てていきたいと思います」と告辞を述べ、新入園児とご家庭を歓迎しました。



ここにこの入園式。立派でしたね。



楽しい園生活を送ってね！



そら組の年長児が園歌を披露しました。

子育て 全力応援！

小学校入学時 子育て応援支援金 10万円
(小学校及び義務教育学校並びに特別支援学校小学部入学時に支給する子育て応援支援金)

中学校入学時 子育て応援支援金 10万円
(中学校及び義務教育学校並びに特別支援学校中学部入学又は進学時に支給する子育て応援支援金)
希望の里学園では前期課程から後期課程に進級する際に対象となります。

高等学校入学時 子育て応援支援金 20万円
(高等学校及び特別支援学校高等部入学時に支給する子育て応援支援金)

対象となる方

- 父または母の住所が村にあり、かつ子どもも村に住所がある方。
村に住所があれば村外の学校に通う場合も対象です。
- いいたて希望の里学園に入学、進級する方。
希望の里学園の児童生徒は村に住所がない方も対象です。

問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

高等学校等の通学費等の助成も行っています。条件等の詳細は教育課学校教育係までお問い合わせください。

問 教育課学校教育係 ☎0244-42-1631

いいたて希望の里学園 入学式

4月7日、いいたて希望の里学園の入学式が同校体育館で行われ、7人の新1年生が入学しました。



真新しい教科書を受け取る新1年生。



義務教育学校「いいたて希望の里学園」で6回目となる入学式。新1年生は温かな拍手に迎えられ、在校生のエスコートで入場しました。根本晃宏校長は式辞の中で、「たくさんの方のワクワドキドキが待っているこの学校で、いろいろなことを学んでほしい」と新1年生に笑顔で語りかけました。また、在校生代表の花井咲心さん（6年生）が「在校生や先生方がサポートします。仲良く楽しく、元気に過ごしていきたいと思います」と歓迎の言葉を述べました。

やさしく寄り添う在校生と手をつないで入場する新1年生。



前列左から、伊藤寛副校長、根本晃宏校長、善里浩之先生。後列左から、前川美由樹先生、清川まりな先生、山本真喜子先生。

学園に着任された先生方を紹介します。着任式は4月2日に村役場で行われ、杉岡村長、高橋教育長、高橋村議会議長の他、関係の職員が先生方をお迎えしました。根本晃宏校長は、前副校長からの任命換えて引き続きお世話になります。また、伊藤寛副校長は、までいの里のこども園の園長を兼任していただきます。子ども達は村の宝であり希望です。式では出席者が、子ども達への想い、教育への想いを語り合いました。



HELLO!

「ALT (Assistant Language Teacher/外国語指導助手)」に着任したキャンディス・アーチャー先生はアメリカ合衆国・ジョージア州の出身。今回は宮城県蔵王町からの転任です。「子ども達に英語をもっと楽しんでもらえるように教えていきたい」と笑顔で話していました。

飯館村の新採用職員、新採用任期付職員、国・県の派遣職員の順に紹介します。また、それぞれに所属課の順で、同じ課の中では氏名の五十音順です。

あいさつに合わせて、趣味やモットーなどを聞きました。

趣味は映画鑑賞。モットーは早寝早起きです。



飯館村新採用職員 関根・松塚行政区出身
教育課学校教育係 菅野 柊

アニメやバラエティを鑑賞することが趣味です。



飯館村新採用職員 兵庫県西宮市出身
産業振興課農政係 渡邊 雄大

飯館村の職員として村民の皆様の暮らしを支えられるよう努めてまいります。

趣味として山城跡巡り・プロレスリング観戦を楽しんでいます。



飯館村新採用職員 二本松市出身
住民課住民係 佐々木 徹志

1日でも早く一人前の仕事ができるように、一生懸命励みます。よろしくお願いします！

大きな声で（すみません、わかりやすくがモットーです。



飯館村新採用任期付職員 二本松市出身
産業振興課農政係 遠藤 健

東北農政局駐在として5年。これからは職員として、村の営農面積拡大・振興に努めたいと思います。

釣りなどのアウトドアが趣味。自分でできることをやっていく、その積み重ねを大事にしています。



飯館村新採用任期付職員 大久保・外内行政区出身
村づくり推進課企画定住係 赤石澤 則男

41年間、国の公共事業等に携わってきた経験を活かし、村の職員として頑張ります。

スイーツが好きです！



飯館村新採用任期付職員 小宮行政区出身
総務課財政係 村松 絵美

飯館村のため、村民の皆様のお力になれるよう、努めてまいります。

音楽鑑賞とお菓子づくりが趣味です。



飯館村新採用職員 宮内行政区出身
まていの里のこども園 堀川 真紀

子ども達のために全力で職務に取り組んでいきたいと思えます。よろしく申し上げます。

趣味はゴルフ・野球・サッカー。「後悔のない今を生きる」がモットーです。



飯館村新採用任期付職員 群馬県渋川市出身
建設課土木係 野村 厚久

40年間の公務員生活を生かして村の再生復興に取り組むことができたいと思います。

趣味はウイスキーの収集です。



飯館村新採用任期付職員 桑折町出身
建設課農業基盤再生係 松田 秀樹

農業土木技術者として、農業基盤の再生に役立ちたいと思います。

庭の草取りと掃除が趣味。「なんとかなるさ」がモットーです。



飯館村新採用任期付職員 青森県青森市出身
建設課農業基盤再生係 須田 隆嗣

及ばずながら、飯館村の復興のお役に立てるよう、頑張ります。

趣味はスキーとテニス。「チャレンジすること」をモットーにしています。



飯館村新採用任期付職員 会津坂下町出身
建設課農業基盤再生係 小嶋 実

親切、丁寧、スピーディーな行政を目標にしています。

休日には自家用のお米を育てています。草刈りが大変です。



福島県任期付職員 宮城県角田市出身
建設課建設管理係 鈴木 傳

震災復興の業務に関わり6年目になります。飯館村でもお役に立てるよう頑張つてまいります。

ツーリング、釣り、低山ハイキング、映画鑑賞が趣味です。



農林水産省駐在 長泥行政区出身
産業振興課農政係 菅野 幸一

地元駐在として勤務する機会をいただきました。よろしく願ひいたします。

岩稜登攀と読書が趣味です。モットーは「自利利他」と「和顔愛語」。



経済産業省駐在 三重県鈴鹿市出身
村づくり推進課 山本 晃

何世代もの努力による里山の地から育まれる土徳を次世代に繋がるようサポートしたい。

家庭菜園を楽しんでいます。「日々精進」がモットーです。



飯館村任期付職員 伊達市出身
教育課学校教育係（指導主事） 三品 勝彦

こども園から教育委員会へ異動しました。村の子ども達のために、こども園・学園を支援していきます。

鳥が軽やかにさえずる早朝のはやま湖に、釣り人のボートが浮かんでいました。湖面の奥には、朝靄に霞んで「大倉大橋」が見えます。村内でいち早く桜が開花する大倉地区。湖畔を縁取る桜並木は、日ごとに色を変える水面とのコントラストが楽しめます。大倉体育館の赤い屋根の奥、大倉キャンプ場の周りにも多数の桜が見事に咲いていました。



村内の獣害対策に日々尽力いただいています。同日に安全祈願を行い今年度の活動をスタートしました。

鳥獣被害対策実施隊が 新年度の活動をスタート

4月4日、村役場で『飯館村鳥獣被害対策実施隊』の委嘱状交付式が行われました。式では杉岡村長が、24人の隊員に委嘱状を交付。隊長に原田直志さん(深谷)、副隊長に高野秀春さん(大倉)を、どちらも再任で選出しました。また、杉岡村長が「皆さんの尽力により、農林業における鳥獣被害が軽減されている」と感謝を述べ、原田隊長が「今年度も1年間、事故やけがのないよう頑張っていきたい」と意気込みを語りました。同隊は令和6年度にイノシシ186頭、サル135頭、その他379頭の捕獲を行っています。

長泥曲田地区の一部で 新たな避難指示解除

長泥曲田地区に整備された堆肥製造施設の用地と、燃料ペレット用の資源作物を栽培する周辺の農地、合わせて約6.2haについて、令和7年3月31日、避難指示が解除されました。住民が居住しない土地について、安全を確保した上で避難指示を解除する「土地活用スキーム(枠組み)」を活用した解除です。地域の再生と活性化を目指す村の企業誘致に应运えてこの地で創業したイイタテバイオテック株式会社が、解除に伴い本格稼働しました。解除された除染済みの農地では、資源作物の栽培が始まります。



避難指示解除と共に本格操業を開始したイイタテバイオテック株式会社。地域の活性化も期待されます。



規律訓練を行い、分団ごとに整列した団員の皆さん。検閲官の杉岡村長、川村団長らが検閲を行いました。

飯館村消防団が関係機関と 春季検閲式を実施

4月20日、南相馬消防署飯館分署の南側駐車場で、『令和7年飯館村消防団春季検閲式』が行われました。式には消防団員72人、役場消防隊10人の計82人が参加しました。

式では、新たに着任した川村仁団長(関根・松塚)が、「住民が安心して生活できることを願い、より一層の奮起を。大規模森林火災が各地で発生しており、日頃の備えを万全に、活動を進めてほしい」と述べ、団員らの士気を高めました。訓練と検閲に続いて、永年勤続の表彰も行われました。

「日本で最も美しい村」連合 村の幹線道路に看板を設置

「日本で最も美しい村」連合は、フランスの素朴な美しい村を厳選して紹介する「フランスの最も美しい村」運動に共鳴し、平成17年に設立されました。「小さくても素晴らしい地域資源や美しい景観を持つ村」が、日本の農山漁村の景観・文化を守りながら“最も美しい村”として存続していくための運動を展開しています。

飯館村は平成22年から同連合に加盟しています。この取り組みをより広く知っていただこうと、今年3月、村の東西の入り口に、同連合の看板を設置しました。



看板は、二枚橋地区と八木沢地区の県道原町川俣線沿いに設置されました(写真は八木沢地区)。



式の後、杉岡村長、中川副村長との記念撮影が行われました。前列右側が三浦さん、後列右側が森所長。

自衛官募集相談員 三浦盛さんに委嘱状を交付

4月22日、村役場で、「自衛官募集相談員委嘱式」が行われました。委嘱状を交付されたのは、今回で12期目となる三浦盛さん(小宮)です。式には、自衛隊福島地方協力本部相双地域事務所長の森美樹さん、副所長の福島真実さんが出席しました。相談員は、自衛官になりたい人と自衛隊とのパイプ役を務めます。杉岡村長は「豊富な経験を生かし、多くの方に自衛官の活動をPRしていただきたい」と、森所長は「募集相談員の強みである地域における情報収集力を生かして募集をしてほしい」と期待を述べました。

飯館村固定資産評価審査委員 林英滋さんに辞令を交付

4月1日、林英滋さん(白石)に、固定資産評価審査委員の辞令を交付しました。

飯館村の固定資産評価審査委員は、林さんを含め3人です。委員の皆さんは、固定資産の評価に関する申し立てに応じて召集され、飯館村固定資産評価審査委員会の一員として、中立的な立場で事案の審査を行います。林さんは、「少しでも村の役に立てればと思いお引き受けしました」と話していました。林さんの任期は令和10年3月31日までの3年間です。どうぞよろしくお願いいたします。



辞令交付式は村長室で行われ、杉岡村長が林さんに固定資産評価審査委員の辞令を手渡しました。

YouTubeのライブ配信で交流!

4月15日、「福島もも娘 from Taiwan」が、上飯樋地区のスタジオに地域の方を招いて、YouTubeのライブ配信を行いました。配信では、トークショーが行われた他、ダンスの披露では観客が手拍子をしたり一緒に踊ったりして大いに盛り上がりました。メンバーは、「飯館村の風景は台湾の風景と似ていて温かさを感じる」「福島の美味しいそばや桃の魅力を伝えたい」など、飯館村や福島の魅力を発信する活動への意気込みも伝えていました。



管野清さん スポーツ功労賞受賞

管野清さん(草野／写真前列左から2人目)が南相馬市スポーツ協会からスポーツ功労賞を贈られました。飯館村でスポーツ推進委員や体育指導員を務める管野さんは、日本陸上競技連盟S級審判員としても活躍中で、福島陸上競技協会でも監事を務めています。今回の賞は、南相馬市・小高区陸上競技協会理事としての14年にわたる貢献に対して贈られたものです。表彰式は4月9日、南相馬市原町生涯学習センターで行われました。



相馬看護専門学校に飯館村在住の新入生が入学しました

相馬地方広域市町村圏組合が管理者を務める「相馬看護専門学校」の入学式が4月9日に挙行され、飯館村出身者としては約10年ぶりに、細川美裕さん(上飯樋)が入学しました。細川さんは昨年まで「いいたてホーム」に勤務しており、介護の現場で看護師のニーズを実感。資格取得への挑戦を決意し、再び学生となりました。地域医療の担い手となるべく、夢に向かって頑張ってください。



相馬看護専門学校

相馬市、南相馬市、新地町、飯館村の2市1町1村で構成される相馬地方広域市町村圏組合が、地域保健医療の担い手となる看護師等の養成機関として平成13年に開校しました。医療専門課程・看護学科の全日制・3年課程で、看護師国家試験受験資格、保健師・助産師・養護教諭養成課程受験資格などが取得できます。

いいたて希望の里学園で「交通安全教室」が開かれました

4月11日、いいたて希望の里学園の1～6年生を対象に、交通安全教室が開かれました。

教室の前半は、毎日の登下校で利用しているスクールバスで、非常口から外へ出る訓練を行い、後半では役場前の交差点で、押しボタン式信号機の使い方や横断歩道を渡る際の注意点を学びました。教室の最後には、児童が「交通ルールをしっかりと学んで生活に生かしたい」などと感想を述べ合い、学びの成果を振り返りました。



▲スクールバスの非常口から外へ出る訓練を行い、体験を通じて非常時の対応を学びました。

◀1年生の手を上級生が握り、「気をつけて」「右左をしっかりと見てね」と声をかけながら、一緒に横断歩道を渡りました。

屋久杉の回転椅子を村に寄贈

大滝建一郎さん(八木沢・芦原)から、屋久杉製の回転椅子2脚を寄贈いただきました。大滝さんが自身で購入し、自宅で大切に使用してきた逸品です。お申し出を受け検討した結果、寄贈の椅子は飯館村地域防災センターに



置かせていただくこととなりました。大滝さんには杉岡村長から感謝状が贈られました。



やすらぎと憩いの「ぽ～ぽ家」開所

あがべご訪問看護ステーション(星野勝弥代表／飯樋町)が、「村人が誰でも気軽に集まり、立ち寄り、好きなこと、楽しいことができ、つながりが深まる」ことを目的に、飯樋地区宮仲に『ぽ～ぽ家』を開設しました。3月28日には同所で「男性の集い」が開催され、村内外の参加者がそれぞれ得意な楽器を披露。語り合い、楽器を鳴らし合い、終始和やかな雰囲気でした。※施設名は「あったかい」という意味の方言「ぽーぽい」に由来します。



飯館村地域おこし協力隊 お ばた 小幡葉子さんを紹介しす

小幡葉子さんが、4月1日、フリーミッション型の飯館村地域おこし協力隊に着任しました。

アメリカの大学で心理学を学び、ニュージーランドに移住して大学院に進んだ小幡さん。修了後も同国で、臨床アーツセラピーのセラピストとして長く活躍していました。

郡山市在住のご両親が3年余り飯館村で二地域居住をしていた時期に村を訪れ、強く惹かれたことがきっかけに。昨年、移住を検討する中で、元協力隊の横山梨沙さんと知り合い、そのサポートを受けて協力隊への応募を決意しました。「飯館村内外の人々の心と体のケア、そしてWell-being(身体的・精神的・社会的によい状態にあること)を、アートセラピー、ダンスムーブメントセラピー、身体心理セラピー、心理カウンセリング、ボディワークのセッションやワークショップの提供で支えたい。また、もうすでに活躍されている団体のお手伝いを通じてサポートがしたい。まずは村のことをいろいろと勉強して、私にできることを少しずつ形にしていきたいと思っています」。



「人と自然が素晴らしい村」と語る小幡さん。「出会う皆さんから元気をいただいています」。また、お気に入りの虎捕山へは何度も登っているそう。ダンスや和太鼓など趣味も多彩です。

4月の村の動きと主なできごと

- 〔3月〕

31日・長泥曲田地区の一部で避難指示解除

・飯館村消防団退団辞令交付式(村役場)

〔4月〕

1日・飯館村役場職員辞令交付式(交流センター「ふれ愛館」)

・飯館村消防団辞令交付式(交流センター「ふれ愛館」)

2日・転入教職員着任式(村役場)

4日・鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式(村役場)

・春の全国交通安全運動に伴う出動式(南相馬市・ジャスモール)

7日・いいたて希望の里学園 入学式(いいたて希望の里学園)

7・15日・交通安全啓発活動(村内各所)

8日・までのりの里のこども園 入園式(までのりの里のこども園)

9日・相馬看護専門学校 入学式(相馬看護専門学校)

20日・飯館村消防団春季検閲式(飯館分署駐車場)

21日・第2回飯館村第7次総合振興計画策定推進委員会(村役場)

22日・行政区長副区長会議(交流センター「ふれ愛館」)

・自衛官募集相談員委嘱状交付式(村役場)

・文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)

23日・定例教育委員会(村役場)

24日・いいたてスポーツクラブ総会(いいたてスポーツ公園)

・飯館村スポーツ推進委員会(いいたてスポーツ公園)

25日・「花の里ながどろ 環境再生情報ひろば」開所セレモニー(長泥地区現地)

27日・「第44回春日部藤まつり」出展(埼玉県春日部市)

〔3月〕

31日・長泥曲田地区の一部で避難指示解除

・飯館村消防団退団辞令交付式(村役場)

〔4月〕

1日・飯館村役場職員辞令交付式(交流センター「ふれ愛館」)

・飯館村消防団辞令交付式(交流センター「ふれ愛館」)

2日・転入教職員着任式(村役場)

4日・鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式(村役場)

・春の全国交通安全運動に伴う出動式(南相馬市・ジャスモール)

7日・いいたて希望の里学園 入学式(いいたて希望の里学園)

7・15日・交通安全啓発活動(村内各所)

8日・までのりの里のこども園 入園式(までのりの里のこども園)

9日・相馬看護専門学校 入学式(相馬看護専門学校)

20日・飯館村消防団春季検閲式(飯館分署駐車場)

21日・第2回飯館村第7次総合振興計画策定推進委員会(村役場)

22日・行政区長副区長会議(交流センター「ふれ愛館」)

・自衛官募集相談員委嘱状交付式(村役場)

・文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)

23日・定例教育委員会(村役場)

24日・いいたてスポーツクラブ総会(いいたてスポーツ公園)

・飯館村スポーツ推進委員会(いいたてスポーツ公園)

25日・「花の里ながどろ 環境再生情報ひろば」開所セレモニー(長泥地区現地)

27日・「第44回春日部藤まつり」出展(埼玉県春日部市)

飯館村消防団の団長に川村仁さんが就任しました

川村仁さん(関根・松塚)が、4月1日付で、飯館村消防団の団長に就任しました。

川村さんは、昭和57年に入団し、昨年度までは団の副団長を務めていました。「住民の皆さんの安心・安全な生活の一助となるよう努めていきます。村民歌にあるように“山うるわしく、水清らかな”この美しい故郷を守っていけるよう、団員一丸となって取り組んでいきたいと思っています」と決意を話していました。

※写真は春季検閲式(P15)にて撮影。



飯館駐在所の駐在さんを紹介しす

南相馬警察署・飯館駐在所に、安齋晴夫所長が着任しました。安齋所長は二本松市の出身で、県内の交番、駐在所の勤務経験が豊富です。村民との対話の中できちんと場所が分かるよう、着任直後から村内を巡り、地名と道路を確認しているそうです。「村民の皆さんの協力をお願いすることも多々あると思います。この地に慣れ親しみながら、皆さんと仲よくやっていきたいです」と話されていました。

駐在所は巡回などにより不在となる場合があります。事件・事故などの通報は、まず110番へお願いします。



「ウルトラ警察隊」の拠点がセンター地区に移りました

これまで交流センター「ふれ愛館」隣の多目的集会所内に設けられていた「ウルトラ警察隊」の拠点が、今年度から、いいたてクリニック横の建物に移転しました。

「ウルトラ警察隊」は、被災地の治安維持にあたるため、全国から福島県内に特別出向している警察官で編成されています。パトロールなどの警ら活動の他、地域住民とのふれあい活動も行っています。

被災地に想いを寄せ、ご尽力くださる隊員の皆さん、本当にありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。

こちらの拠点は、隊員の皆さんが、村内でパトロールなどを行う際に活用されます。



飯館村にも出没中！

サルの群れ

特性を知り、被害を減らそう！

令和6年度の調査によるサルの分布図を掲載します。サルによる農作物への被害は全国各地に広がっています。サルの特性を知り、効果的な対策を続けていきましょう。

■特性を知り対策しよう！

サルは高い運動能力を持ち器用に手を使います。嗅覚や聴覚は人間と同じくらいで、哺乳類としてはあまりよい方ではありません。視力も人間と同じ位ですが、これは哺乳類としてはよい方です。目で見てエサを探すので、狙われやすい作物を畑の中ほどに植え、周囲から見えにくくすることも有効です。また、柵をよじ登ることができるので、サルの対策には、ワイヤーメッシュ、有刺鉄線、電気柵を組み合わせた「複合柵」が効果的です。サルは近くに木や電柱などがあると、そこに登ってジャンプして飛び込んでしまいます。サル対策の柵を設置する際は、それらから3m程度は離してください。

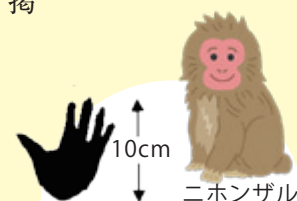


※上のイラスト・上下の記事(部分流用)は福島県避難地域鳥獣対策支援員・京黒篤志さんの「いいいたてイノサル通信」広報いいいたて令和6年11月号から。

■根気よく追い払おう！

サルはしつこく出てきますが効果的な追い払いを続けていれば、いずれ効果が出ます。

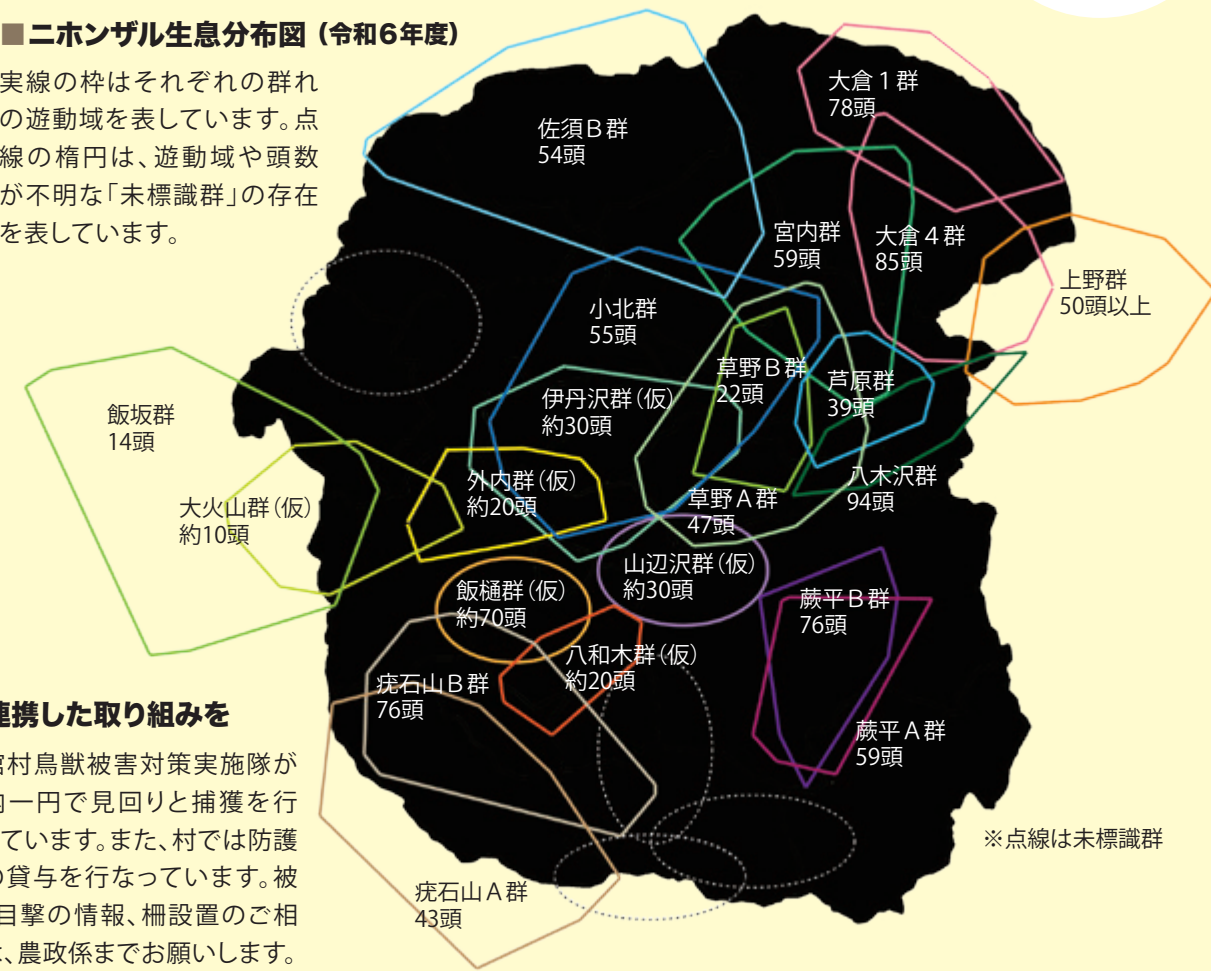
- ① 音や声で威嚇する 大きな音や声でサルを驚かせましょう。
- ② サルに向かって移動する 音や声を出しながらサルに向かって歩き、怖がらせます。
- ③ 林の中に踏み込み追い払う 無理のない範囲で。「安心できない」と知らせます。
- ④ サルの気配がなくなるまで待つ 気配がなくなれば林の奥まで逃げています。



昼行性で群れて生活します。何でも食べる雑食性です。

■ニホンザル生息分布図(令和6年度)

実線の枠はそれぞれの群れの遊動域を表しています。点線の楕円は、遊動域や頭数が不明な「未標識群」の存在を表しています。



■連携した取り組みを

飯館村鳥獣被害対策実施隊が村内一円で見回りと捕獲を行っています。また、村では防護柵の貸与を行っています。被害・目撃の情報、柵設置のご相談は、農政係までお願いします。

問 産業振興課農政係 ☎0244-42-1625

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

おすすめ図書を紹介します

藍を継ぐ海



伊与原新 著
新潮社

第172回直木賞受賞作品。科学的要素が取り込まれている身近なものを題材とした5つの短編集。「話一話」によりアリティがあり、探究心や知的好奇心が沸いてくるような作品です。

おうちで簡単！
マンガでわかる薬膳・漢方

杏仁美友 著
咲間はち子・サイドランチ マンガ
池田書店

体の不調を改善できる身近な対処法をわかりやすく教えてくれる1冊。薬膳ってなんだろう…と思う初心者の方でもしっかり学ぶことができます。体を調えるためにぜひ読んでみてください。

歴史の散歩道

長泥の桜 七曲がり峠の花物語

『長泥の桜』は、長泥地区の中心部に降りていく「七曲がり峠」(国道399号線)に連なる桜並木。上皇上皇后両陛下のご成婚(昭和34年)を祝し長泥出身の初代村長・高橋市平村長が寄贈した桜を植樹したことがその始まりで、昭和56年には20本の桜を補植し、住民が力を合わせて手入れを継続してきました。

平成2年には、行政区単位で地域づくりを進める「やまびこ運動」の一環で『花の里 長泥』を掲げ、区内全世帯に吉野桜を配付。また、サツキ、ツツジ、アジサイなどを植樹し、「七曲がり峠」は、桜を筆頭に、『花の里 長泥』の名所として広く親しまれることとなりました。峠の最上段に整備された展望広場からは、桜並木と山並みの向こうに太平洋を望むことができます。

長泥地区の避難指示は令和5年に特定復興再生拠点区域と区域外の一部で解除されました。地区の皆さんはその前年から3年間にわたり「長泥植樹祭」を開催。植樹には長泥に想いを寄せる多くのボランティアも加わり、「花の里」再生にかける想いを木々に託しました。



令和6年10月の植樹祭の様子。3年間の事業で桜をはじめとする約840本の花木を植樹しました。



薄紅色の桜花に覆われる「七曲がり峠」。つづら折りの峠道ならではの花景色が楽しめます。

村民の皆さまの心づくし

有難きいとなみに感謝

第31回

杉岡 誠 村長の

愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



新年度が始まって早一カ月。春の暖かさが一気に押し寄せ、夏日を思わせる陽射しも降り注ぐ中、飯舘村全域で桜が二斉開花する珍しい卯月となりました。

4月7日には「いたて希望の里学園」入学式、8日には「までのの里のこども園」入園式が執り行われ、子ども達がワクワクする楽しい学園生活・園生活がスタートいたしました。村の希望であり宝であるお子様達のかげがえのない成長のため、そして安心して子育てができるよう、飯舘村には各種のサポート体制・事業があります。詳しくは広報いたて2月号もお目通しいただければ幸いです。

飯舘村の春の風物詩「飯舘復興三千本桜」ですが、今年も會田さんご夫妻の予想が的中して4月20日に満開となりました。會田さんご夫妻の積年の植樹により3100本にもなる桜が咲き誇り、訪れる人々の目と心を癒してくれました。晴天に恵まれた19日・20日には「桜まつり」が開催され、ライトアップされた夜桜を含めて、多くの方々に足をお運びいただきました。バスでお越しの団体の皆さまが道の駅までい館の「いたて復興桜めん」や宿泊体験館きこりのお風呂なども楽しんでいかれたとのことでした。

梅、桃、桜が同時に咲くことから「三春」の地名が生まれたそうですが、今年の村は、梅、桃、桜に加えて、菜の花、レンギョウ、モクレンなどが一斉に咲き誇り、スイセンが一面に咲いている所もありました。浜通りや中通りから一時間圏内なのに、1週間から10日間ほど遅れた季節の訪れは、飯舘村にしかない魅力であり、ありがたい風景です。

「ありがたい」とは古語では「有難し」と書きます。「そこに有ることが難しいこと」「滅多にないこと」がもともとこの字義ですが、「滅多に出会えないこと(有難し)」に出会えた感動が「ありがたい」と言う現代語につながっています。村民の皆さまの心づくし、いとなみがあらわれている風景に、「有難し」「ありがたい」の念が尽きません。

27日には、元村職員がご縁を紡いでくれた「春日部藤まつり」に、昨年に引き続き出店、出席させていただきました。村からはグランドオープンした「菓子工房Cocittor」さん、そして「までの工房」さんにご帯同いただきました。また5月3日には、「いたて希望の里学園」の児童生徒が作成した「大風」が春日部市の空に上がります。

村内でも、ゴールデンウィーク中はいろいろなイベントが開催されます。4月29日には図書館倉庫さんでの「第5回ズットフィルム」、5月3日には「よつてがつしえ長泥! 第4回ワクワクマルシェ」、同4日には「いたてロックフェスティバル(交流センター「ふれ愛館」)の他、道の駅までい館でも各種イベントが開催されます。ぜひ新緑の煌めきが眩しい飯舘村を満喫して、心身ともに健やかな五月をお過ごしください。



■ ひとのうごき

ひとのうごき 令和7年4月1日現在

人口	今月(前月比)	3月1日～31日までの人口動態
●男	2,263人(－5)	転入 9人
●女	2,195人(－20)	転出 27人
計	4,458人(－25)	出生 0人
世帯数	1,792戸(－1)	死亡 6人
		(住民基本台帳人口)

(3月21日から4月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
庄司 ハナノ さん	95	小宮
但野 カネ さん	95	草野
大内 テルイ さん	97	佐須

ご冥福をお祈り申し上げます



飯舘村産「あぶくまもち」を使用した切餅 県内のセブン-イレブン、ヨークベニマルで好評販売中!

昨年、セブン-イレブンのネットギフトで販売された『あぶくまもち杵つき餅』の再販が決定し、現在、県内のセブン-イレブンやヨークベニマル各店で販売されています。

「あぶくまもち」は福島県が開発したオリジナルのもち米品種で、平成21年に品種登録されましたが、東日本大震災により生産休止を余儀なくされました。その後、令和3年から飯舘村で生産が再開され、現在も飯舘村でのみ生産されています。

令和6年産の「あぶくまもち」を使用した『あぶくまもち杵つき餅』は、大変なめらかで、やわらかな舌触りと風味にあふれた美味しい商品となっています。また、切餅が1袋に6切入っており、ご飯やおやつにちょうどよいサイズです。店頭で見かけた際には、ぜひ手に取ってみてください。



皆さんが広報委員! フォト いいだてPHOTOリレー



テーマは「家族」
撮影者 渡部 功さん(草野)



この写真は、4月19日に行われた「飯舘復興三千本桜まつり」で撮影しました。三千本桜を植樹した會田征男さんと、遊びに来ていた娘さん、姪にあたる方とその息子さんの写真です。毎年この時期に桜の撮影に行っているのですが、これだけの規模の桜並木をつくり上げ、管理を続けることは、誰にでもできることではありません。

會田さんのご努力に、ただただ感心するばかりです。桜の咲く時期に家族が集まり、寄り添いながら笑顔を浮かべる様子が素敵だと思います。この写真は大きくプリントして、會田さんご夫妻にプレゼントしました。

6月号

例えば…「結婚」「出会い」「父の日」「雨(梅雨)」をテーマに。

5月14日(水)締切

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考の上、掲載をさせていただきます。
- 報酬 1掲載につき1,500円。

まずは電話でお問い合わせください。皆さんの素敵な写真をお待ちしています!

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613

長泥地区に環境省の広報施設がオープン！

交流にも期待「花の里ながどろ 環境再生情報ひろば」

長泥地区で実施している

近くにオープンしました。

環境再生事業や身の回りの放射線などについての情報を展示する環境省の広報施設『花の里ながどろ 環境再生情報ひろば』が、4月25日、長泥コミュニティセンター

この施設は予約なしで観覧できます。また、見学や視察に来た方が説明を受ける場としても活用されます。運営を行う福島地方環境事務所では「地元の方が気軽に

に立ち寄り休憩や談笑ができる場所にした。また一般の来館者とも交流ができるような親しみやすい空間を目指していきます」と話しています。花きを栽培するハウスの見学や、押し花カードの作成体験もできるそうです。皆さんもぜひ訪れてみてください。

ひろばの位置と周辺地図



花の里ながどろ 環境再生情報ひろば（愛称：ながどろひろば）

開館時間：午前 10 時～午後 4 時

休 館 日：毎週日曜日・月曜日、年末年始

入 館 料：無 料

場 所：飯館村長泥字長泥 815-1

※冬期は積雪の状況により閉館することがあります。



ひろば内の主な展示内容

パネル展示 大震災からこれまでの経緯、身の回りの放射線、長泥地区環境再生事業、飯館村情報

映像展示 タレントのなすびさんがリポートする映像、苗の植え付け・田んぼの生き物たちを記録した映像等

そ の 他 再生資材製造プラントの模型、長泥地区のビニールハウスで栽培した花き類の展示等

〈編集後記〉

私事ではありますが、

取ってみたいかがで

先日中学時代の同級生の結婚式に参加しました。出会ってから10年以上たっても、連絡を取り合い、晴れの日に参加できたことに、嬉しさと感動がこみ上げてきました。春は出会いの季節といいますが、新しい出会いに限らず、昔からの友人との再会も、大切なことだと思います。これを読んだ皆様も、ぜひ連絡を

寒の戻りで桜前線が足踏みをしたおかげで春の花々が桜とともに咲きそろい、各地から訪れた皆さんをお迎えしました。村に数ある桜の園も始まりはそれぞれ幾本かの小さな苗木だったのかも知れません。人の手が、人の想いが、長い時間をかけてつくり出した花景色。たくさん笑顔が輝いていました。（星）

「工房マートル」が移転オープン！

元飯館村地域おこし協力隊でキャンドル作家の大槻美友さんが営む「工房マートル」が草野地区に移転オープンしました。



工房マートル

飯館村草野字大師堂 1 2 7

営業日の確認・ワークショップの予約などは Instagram から。

